

高大連携講座

ハリヨ研修 1年理数科

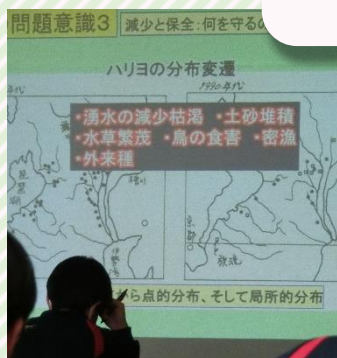
- (目的) ハリヨの調査研究活動を行い、環境保全の大切さを学ぶとともに、
自然環境と人間生活の関わりについて考える。
(日時) 令和7年5月15日(木) 8:30~15:30
(場所) 海津市南濃町津屋 みかげの森、清水池周辺
(講師) 岐阜協立大学 森 誠一 教授 (淡水魚研究の第一人者)
(対象) 理数科1年生39名、理数科ハリヨ班3年生3名、2年生6名

本校理数科では、2006年6月より南濃町津屋地区清水池周辺のハリヨの調査研究及び保護活動を行っています。ハリヨは特有の行動様式があり、現在では西濃と滋賀県東部にしか生息しない希少種です。研修場所の南濃町津屋清水池は、その環境を含めて、国の天然記念物に指定されています。ハリヨの継続研究を行っている研究班の先輩も現地に同行し、後輩に伝えています。

森教授の講義

西美濃における「郷土財」湧水魚ハリヨ

1. 西美濃ってどんなところ？
2. ハリヨってどんな魚？
3. “郷土財”としての保全と活用



森誠一教授

清水池周辺

ハリヨの生息地である清水池や周辺環境の地理的な特徴に関する野外講義



ハリヨ観察

2・3年生による追い込み作業と個体調査の見学



本校は、特別の許可をいただいて調査活動をおこなっています。
ハリヨの捕獲、殺傷は岐阜県条例により禁止されています。

調査活動

事前に学習した「底生生物による水質調査」の実施



リーフレット配布

10グループに分かれて、今年は430枚を個別配布

